

Weekly Report

テーマ / 5RC合同ガバナー公式訪問(北RCホスト) メンバー卓話: 田嶋好博君

■日 時 / 2010年10月29日(金) 12:30~13:30 ■場 所 / カトリック布池教会内 聖ヨゼフ館



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-11年度国際ロータリーテーマ

地域を育み、大陸をつなぐ

2010-11年度クラブ運営方針

「与え続ける心を持とう」

会 長: 青木 昭憲
副会長: 田中 利幸
幹 事: 岡田 浩人
例 会: 毎週木曜日
会 場: カトリック布池教会内聖ヨゼフ館
住 所: 名古屋市東区葵1-12-23
電 話: 052-935-7790

第251回例会(第16回)

例会出席率

今 回 (10/29)		前 回 (10/21)		前々回 (10/7)	
会員数	26名	会員数	26名	会員数	26名
出席数	15名	出席数	10名	出席数	14名
欠席数	11名	補填数	5名	補填数	2名
出席率	65.4%	出席率	57.7%	出席率	61.5%

斉唱

ロータリーソング『奉仕の理想』

今月のお誕生日

9日 青木 昭憲 君 11日 加藤 貞実 さん
20日 浅野 哲司 君

次回例会案内(第17回)

- 開催日時 / 2010年11月4日 19:00~
- 開催場所 / カトリック布池教会内 聖ヨゼフ会館3F
- テ - マ / メンバー卓話 吉村 剛信 君

ビジター紹介

本日はいらっしゃいませんでした。

ニコボックス報告

年 間 予 算	前 回 ま だ の 累 計	本 日
450,000円	108,000円	11,000円

村木君 青木会長スピーチがんばってください。
田中君 同上
岡田君 同上
青木君 同上
前崎君 同上
石原君 同上
吉村君 同上
山田君 青木会長がんばってください
谷口君
加藤君
加納君

会長挨拶

青木昭憲



青木会長より挨拶がありました。



国際ロータリー第2760地区
2010-2011年度ガバナー
田嶋 好博(たじま よしひろ)

- ◆生年月日 昭和14年3月1日
- ◆職業分類 民事弁護士
- ◆役 職 田嶋・水谷法律事務所 弁護士
- ◆所属RC 名古屋北RC

- ◆ロータリー歴 1972.10 名古屋北RC入会
- 1998～99 クラブ会長
- 2005～06 ガバナー補佐
- 2008～09 ガバナーノミニー
- 2009～10 ガバナーエレクト

マルチプル・P・H・フェロー
ベネファクター
米山功労賞

2012～13年度のRI会長に埼玉県八潮ロータリークラブの会員田中作次氏が当選されました。誠におめでたいことです。RI会長は日本人としては田中さんが3人目だと思いますが、ご活躍を期待しています。

当地区も多数の会員を擁する地区でありながら、従来RI理事を選出していなかったこともあり、それ相当の協力を要請されることになると思います。

今年度のレイ・クリンギンスミスRI会長は、アメリカ人の弁護士で、若い頃ロータリーの奨学試験に合格され3年間南アフリカに留学された学友であります。クリンギンスミスRI会長は「伝統的な慣習の全てを見直し、もっと良い方法があれば、新しい伝統を始めるべきである」とされた上で、RI会長テーマを「地域を育み 大陸をつなぐ」と発表されました。

クリンギンスミス会長は、RI会長テーマについて、今迄のRI会長テーマは、ロータリアンだけに呼び掛けるものであったが、今回はロータリアン以外の人達にロータリーの目的を説明し、ロータリアンに対しては自分達の活動の意義を再認識して貰うことを目標に作成したと説明されました。

このテーマの「地域を育み」は私達が地域社会の人達と一緒に地域社会がより良くなるよう、より住みよくなるよう協力しようとの呼び掛けであり、「大陸をつなぐ」は国際理解と国際協力に努力しようということ、ロータリーに相応しいテーマであり同時に世界に対して呼び掛ける

という勇大なテーマであります。

またRI会長の強調事項は8つとされています。クリンギンスミス会長は特にポリオ撲滅と青少年プログラムの推進を強調したいと説明されています。私は強調事項をポリオの撲滅と青少年プログラムの推進と平和と紛争の予防・紛争解決以下の6つを人道的奉仕の具体的な例と解釈し、それを人道的プロジェクトの推進で一括りして3つに整理いたしました。

皆様はRIの長期計画について見たり聞いたりされましたでしょうか。RIは一昨年11月の理事会で長期計画を決定し、今年7月1日から実施しています。RIは今後3年から5年はこの長期計画に基づいて運営されます。実は長期計画の「人道的奉仕の重点化と増加」の項にポリオ撲滅、青少年と青年のプログラム、ロータリー財団の6つの重点分野というものが、今年度のRI会長の強調事項はそれと全く重複します。

長期計画を見ますと標語に「超我の奉仕」、中核となる価値観として「奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ」使命に「私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する」とされています。

RIは地区やクラブに対してそれぞれの長期計画の策定を呼び掛けています。

本年4月の規定審議会は、新世代奉仕を四大奉仕に追加して五大奉仕とすることを決定しました。標準ロータリークラブ定款第5条に追加される内容は、指導力養成活動(RYLAのこと)、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加(インターアクト、ローターアクトのこと)、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクト(青少年交換のこと)であります。1月の国際協議会では新世代のためのロータリークラブの紹介があり、規定審議会では小中学生を対象にしたキッズロータリーの話も出たようですが、日本では難しいと思います。従って、当地区ではRYLA、インターアクト、ローターアクト、青少年交換の4委員会を中心に新世代の活動を展開して行くこととなります。

今年度は近藤RI理事らの発案でロータリークラブ定款の表現の見直しも始められています。RIの職業奉仕委員会など今年度はさまざまな制度改革が始められる年であります。

私はさまざまな機会にロータリーの基本は会員であり、会員が恒常的に活躍されるクラブだと申し上げて参りましたが、各クラブが歴史と伝統を守り育てると共に奉仕に対するしっかりした方針を確立され、ロータリー夢を実現されるよう祈念いたしております。